

今月の言葉 鉄道設備部に異動して思うこと 西部隆宏 9

特集 システム化・業務の効率化

保線設備管理システムにおける新幹線と在来線の統合	JR北海道 熊谷篤貢	10
ここはどこ？ すぐに知りたい！ 記録したい！—キロ程GISデータでDX—	JR東日本 高瀬祐一・奥村悠樹	13
施設指令業務のDXに向けた取組み	JR東海 太田 歩・小原 崇・新原元樹	17
保線業務へのICT技術活用の現在	JR西日本 阿部成紀	20
保線総合システム(RAILS)の概要	JR九州 高鍋 司	23

総合技術講演会

熱間矯正によるレール落ち込み部補修の検討	JR北海道 神田裕也	27
乗り心地改善に向けた軌道保守の取組み		
—可変パッドを用いたドレンのパッキン修繕—	JR四国 太山 敦	30

鉄道総研だより

軌道変位の新たな複合管理指標の開発に向けた検討	鉄道総研 吉田尚史・坪川洋友	34
-------------------------	----------------	----

時事的記事

名松線家城駅下り本線レベル化による作業効率化の取組み	JR東海 松下勇氣・山崎慧太	37
絶縁部増厚型(8mm)の接着絶縁継目のさらなる活用に向けた検討	JR東海 浅野 航	40
レール損傷を想定した早期の運転再開に向けた対応訓練の実施	JR東日本 遠田秀晴・山口智大	43

持続可能な軌道メンテナンス体制の実現に向けた「軌道工事将来検討プロジェクト」の取組み	JR東日本 津久井貴大・谷中仁志／東鉄工業(株) 仲島弘樹	46
--	-------------------------------	----

創意工夫

折尾保線所における線路検査の効率化	九鉄工業(株) 小金丸雄史	50
-------------------	---------------	----

私たちの施工方法, 紹介します!!

マルチアングルダンプボックス(MADB)を用いたバラスト散布	名工建設(株) 小野晃浩	53
--------------------------------	--------------	----

我が社の協力会社

新幹線名古屋管内を支える少数精鋭チーム (有)久米シビル	シーエヌ建設(株) 湊川洋規	56
------------------------------	----------------	----

鉄道土木メンテナンス

張碓トンネルの噴泥対策	JR北海道 及川靖春	59
-------------	------------	----

現場長奮闘記

感謝の思いを胸に前進!	JR四国 大草裕二郎	62
-------------	------------	----

わかりやすい保線技術

木まくらぎ用締結装置	JR九州 西川博貴	63
------------	-----------	----

いまさら聞けない保線知識

なぜ車両に台車が必要か?	JR四国 シモネックタマーシュ	65
--------------	-----------------	----

ワンダフルな職場拝見

阿波の鉄路を守る保線屋集団	四国開発建設(株) 徳島営業所	66
---------------	-----------------	----

「次世代への技術の継承」を目指して!!	相模鉄道(株) 施設部	67
---------------------	-------------	----

我が社のホープ

なんでも全力~仕事も球も釣も~	JR九州 門司保線区	68
-----------------	------------	----

目指せ! ジョーカー	東鉄工業(株) 八王子支店 大月出張所	68
------------	---------------------	----

こんなことがあった

置き忘れた工器具があわや列車に接触	三軌建設(株) 山下義孝	69
-------------------	--------------	----

WTS海外線路情報局

海外鉄道事業者によるJR東日本視察の紹介		
----------------------	--	--

JR東日本東南アジア事業開発 山地毅彦		71
---------------------	--	----

軌道会社だより

全国軌道業協会の取組み	全国軌道業協会 吉井時広	73
-------------	--------------	----

我が社の自慢

開発に対する実直な取組み	興和化成(株) 内沼一雄	74
--------------	--------------	----

施設のうごき

コラム 地球温暖化対策は大丈夫か		26
------------------	--	----

【表紙写真】 施設指令業務のDXに向けた取組み

〈JR東海 施設部 保線課 主任 太田 歩・小原 崇／主席 新原元樹〉

Microsoft365を導入したことにより情報共有のスピードと正確性が向上し、施設指令業務を大幅に改善することができました。現場の知見により内製化した情報ポータルサイトや専用アプリ、Teamsによる情報連携をはじめとした施設指令業務のDXを推進しています。

【グラビア】 施設指令業務のDXに向けた取組み

〈JR東海 施設部 保線課 主任 太田 歩・小原 崇／主席 新原元樹〉 2

読者アンケートを実施中です。回答された方のなかから毎月抽選で5名様にQuoカード(Emailタイプ)500円分をプレゼントいたします。どしどしご回答ください。

回答用QRコード→

